



日本一のおんせん県おおいた



平成29年の交通事故 発生状況等について

～「日本一安全な大分」の実現に向けて～

□業務目標：交通事故死者数過去最少



交通事故発生状況 (確定値)

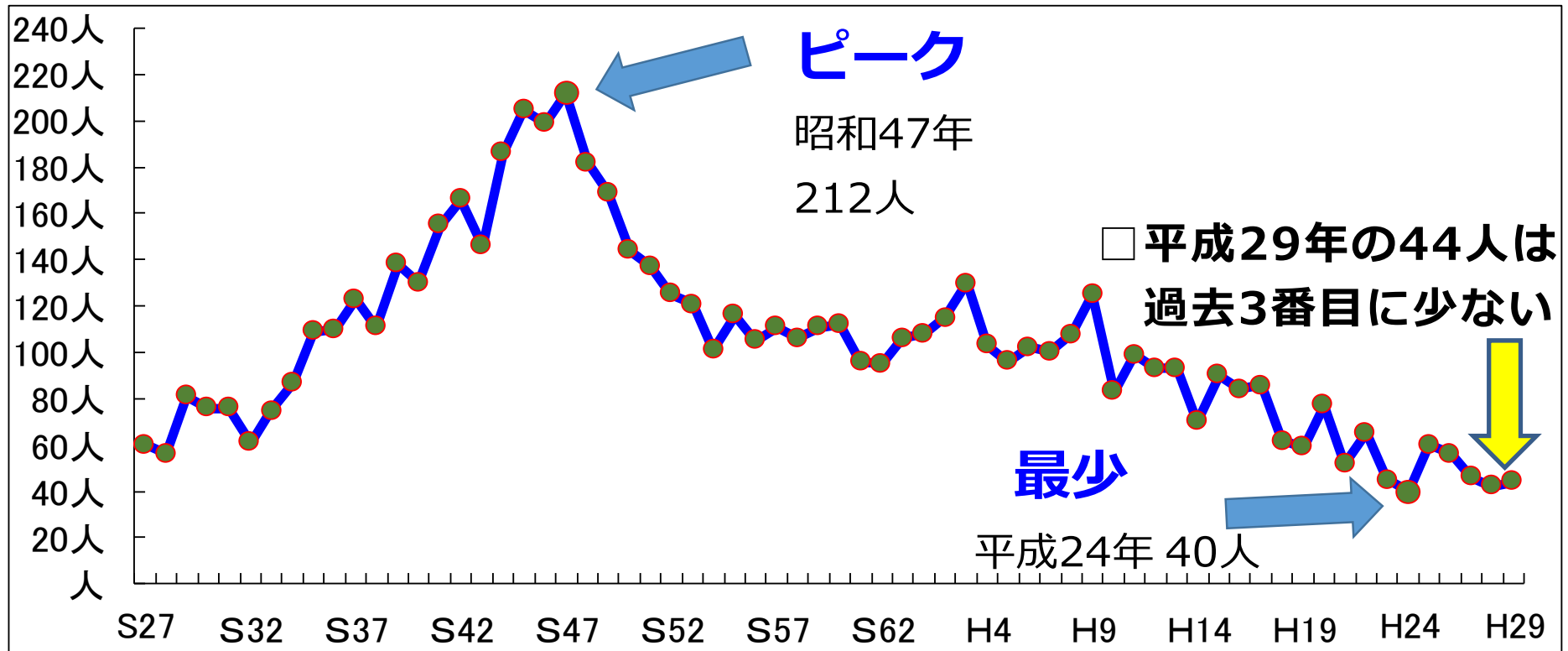
- 死者数は、過去3番目に少ない44人
- 発生件数及び負傷者数は、いずれも13年連続減少

	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	軽傷者数
平成29年	4,131	44	5,332	405	4,927
平成28年	4,478	42	5,862	439	5,423
増減数	-347	2	-530	-34	-496
増減率	-7.7%	4.8%	-9.0%	-7.7%	-9.1%



死者数の推移

- 過去**最大**の死者数：昭和47年 212人
- 過去**最少**の死者数：平成24年 40人

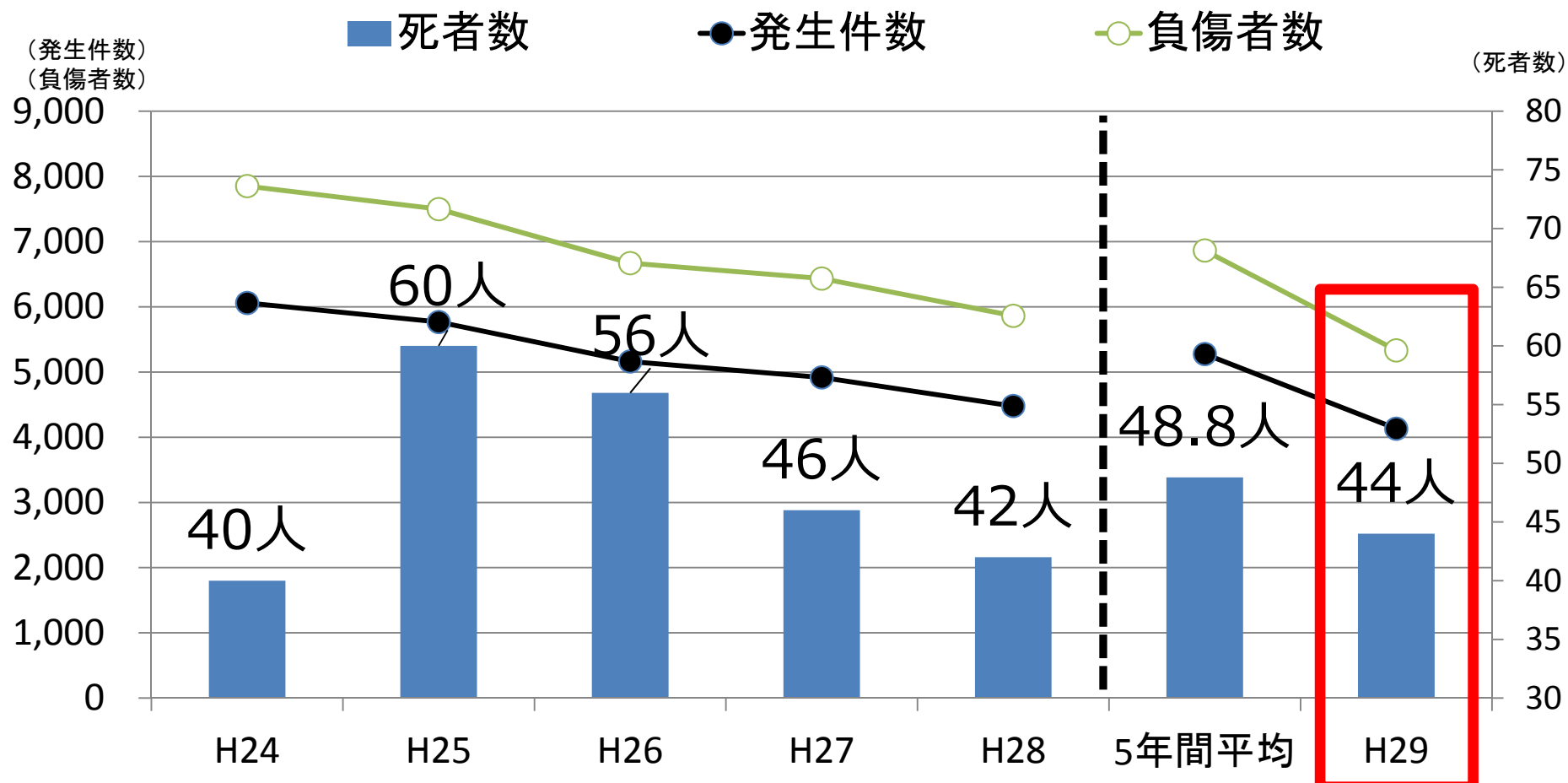




交通情勢

過去5年間(H24~H28)比較

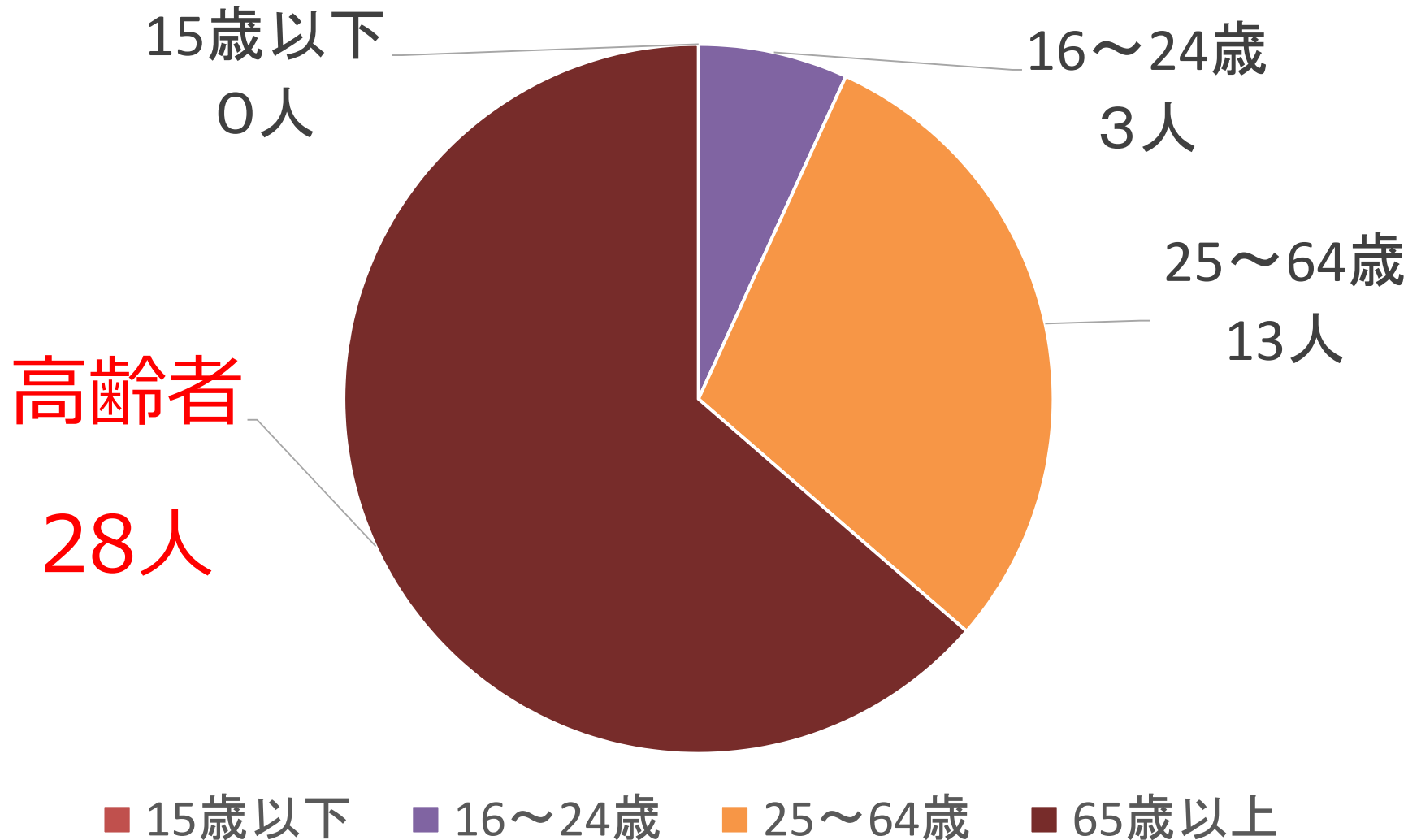
□ 過去5年間平均値より、いずれも**減少**





死者数の年齢層別

□ 高齢者の死者は28人(割合63.6%:全国54.7%)





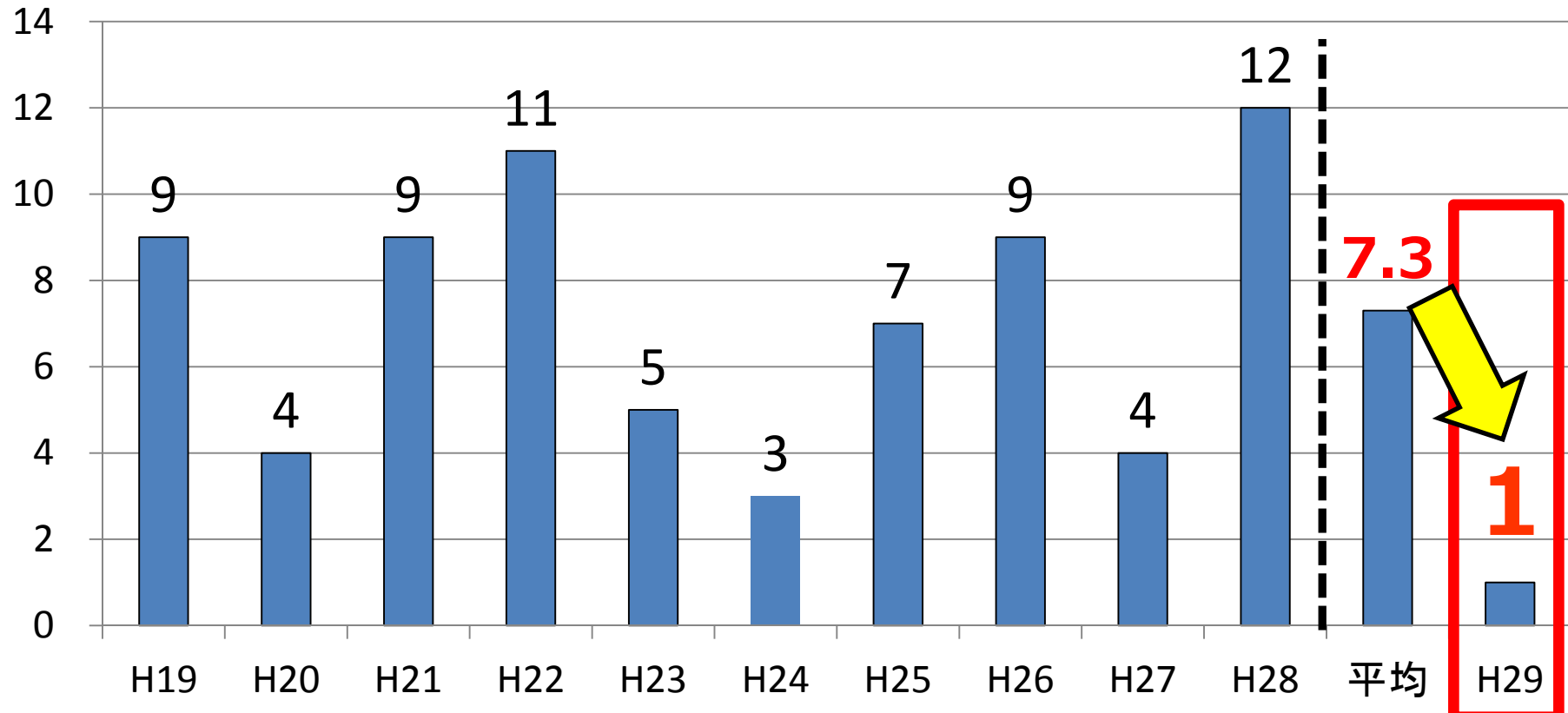
高齢歩行者の死者

過去10年間(H19~H28)の9月以降

□ 過去10年間平均値より**大幅に減少**

9月以降の高齢歩行者の死者数

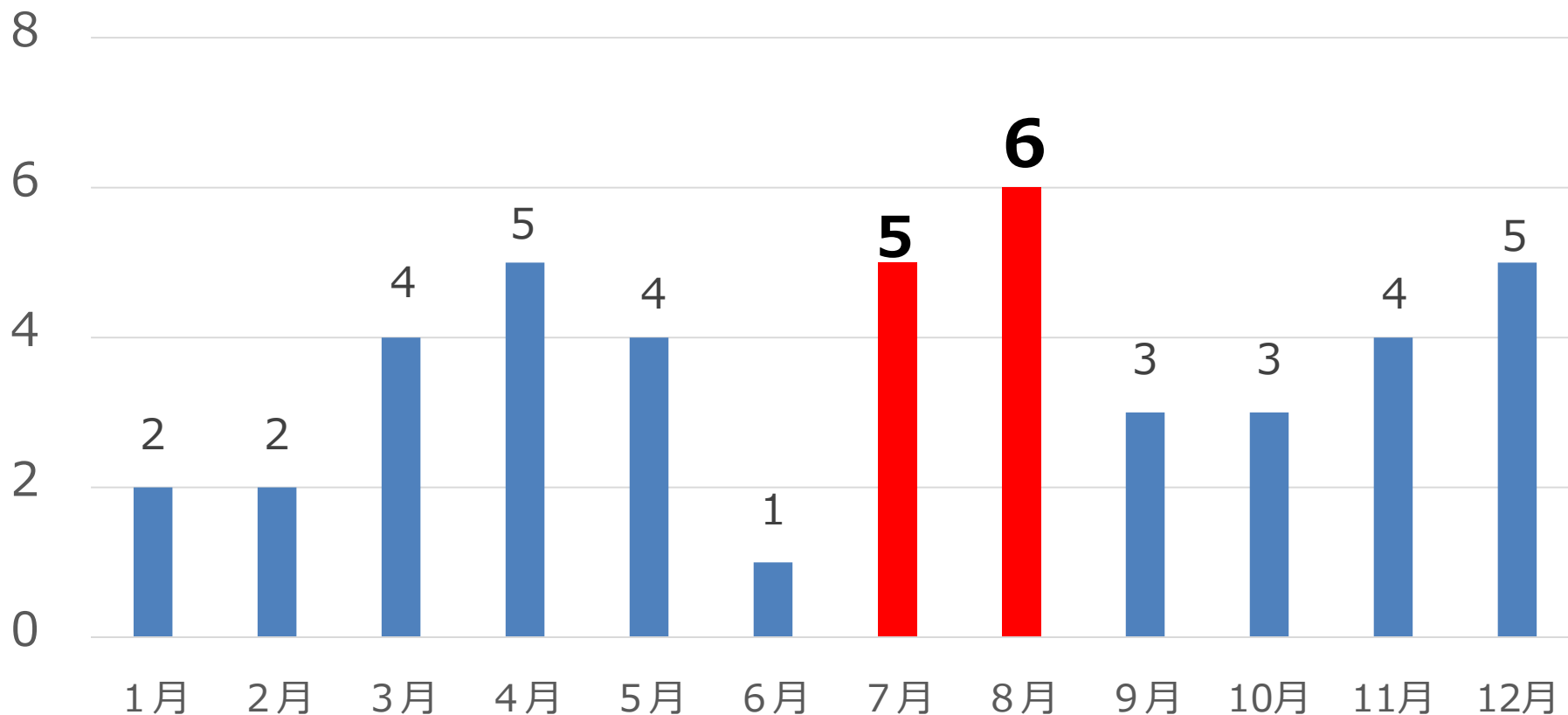
(死者数)





死者数の月別

□ 夏場に死亡事故が多発



(参考) 過去5年間 (H24-H28) の月別平均死者数

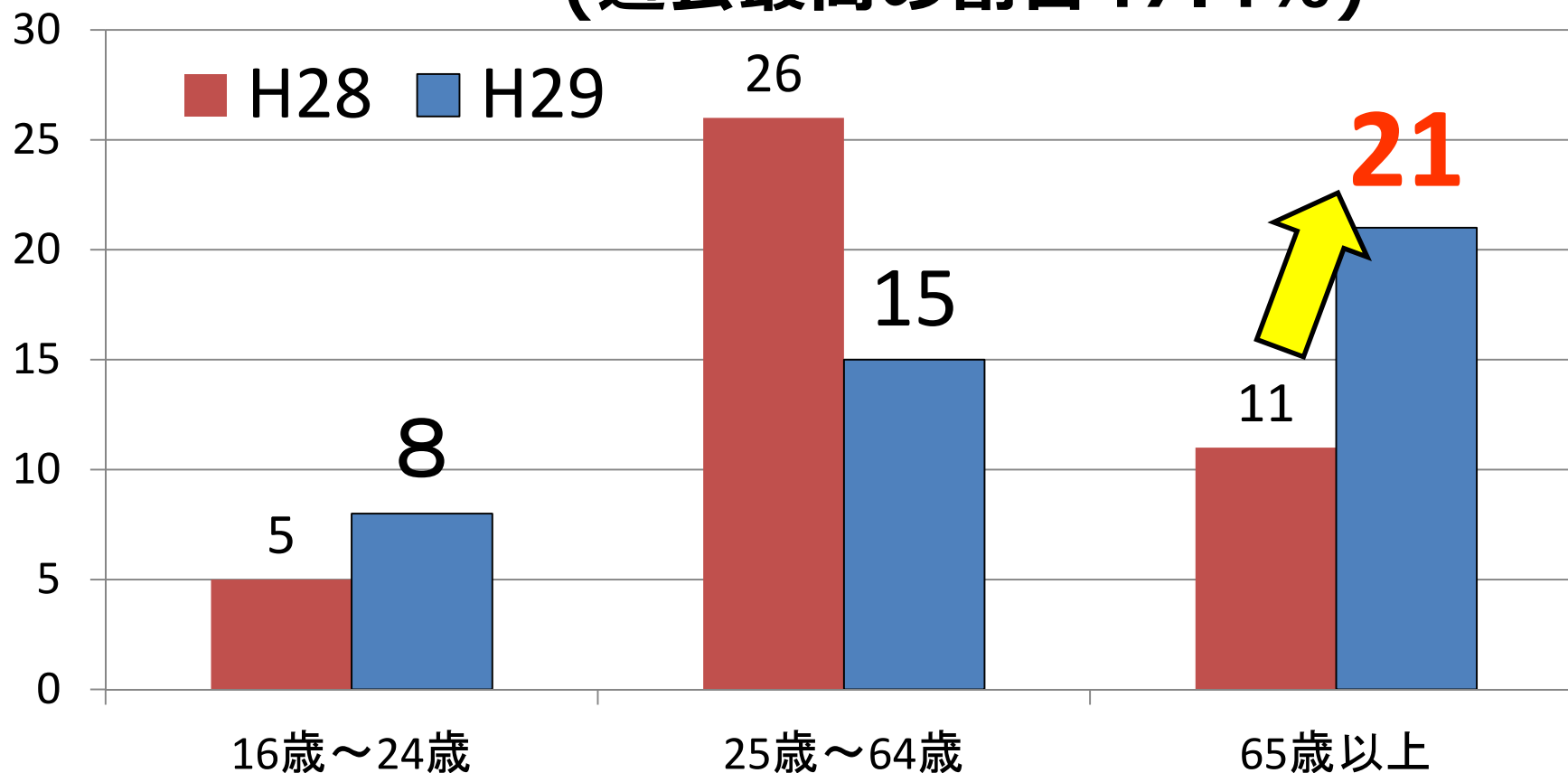
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2.6	3.8	3.8	3.0	5.2	4.0	3.8	4.4	3.6	5.6	3.4	5.6



現状と課題

現状：死者数が前年比より増加

□ **課題**：高齢運転者による死亡事故が増加
(過去最高の割合47.4%)





現状と課題

背景：高齢者の免許人口が増加

→ 高齢者事故割合も増加

(高齢者の免許人口)

(高齢者の第1当事者の事故割合)

